令和4年度 つつじが丘小学校 学校評価報告書

【A:達成 B:ほぼ達成 C:あまり達成してない D:達成していない】

領域	評価項目	自己評価 (達成状況)	学校の現状や改善に向けた方策	関係者 評価	具体的提言
学校経営・教育課程	教育目標に基づいた 学校運営	75%	◆目指す子ども像について、さらに具体的な姿を全職員で共通認識する。 ◆カリキュラム作成の際に外部人材を活用した活動を明確にし、外部講師や地域ボランティアを積極的に活用する。 ◆今年度もベルマーク集計に社協のボランティアグループに協力していただいた。 ◆学校支援ボランティアの方に家庭科の授業サポートを行っていただいた。来年度も積極的な活用を行う。 ◆学校ホームページやメール配信を活用し、ペーパレスで情報発信していくことを試みる。 ◆オープン参観を復活させ、地域の方に足を運んでいただく機会を増やす。 ◆保護者への積極的な「報告・連絡・相談」を行い、つながりをつくる。	B	◆今後の児童が生きていく社会は、予測不可能な社会といわれている。児童が育つ学校のあり方を考えていただきありがたい。 ◆学校運営協議会を積極的に活用してほしい。 ◆オープン参観で地域の方と交流するような活動を仕組むことも視野に入れてほしい。 ◆地域の体育指導員と連携し、軽スポーツの体験活動をすることは可能。身近な人材をうまく活用することを検討してほしい。 ◆学校同士の縦のつながりも大切にしていきたい。 ◆保護者の思いは、笑顔で学校へ行き、楽しく学習して家庭に帰ってくること。今後も保護者、地域の方に見ていただく機会が増えればと思う。 ◆職員が地域に足を運ぶことで、地域の協力を得やすくなるのではないか。 ◆保護者との普段からのコミュニケーション連絡はいい方策だと感じる。
	地域や児童の 実態を生かした 教育課程の編成	76.7%		B	
	地域とともにある 学校づくり (地域・保護者との連携/情報発信)	78.1%		B	
学習指導・課題教育	・基礎学力の定着 ・体力づくり ・わかる授業づくり	79.2%	◆講義的な授業・一問一答式の授業からの脱却を図る。 (研究会への積極的な参加・学びの交流・校内の公開授業の実施・研究体制の見直し等) ◆猪名川町教育委員会研究指定「教師の授業力向上推進校」としての1年目、スキルアップ研修や理論研修等を行った。来年度は、児童が主体的に思考し活動する45分の授業マネジメント力向上に向けて取り組んでいく。 ◆児童数が年々減少していくため、委員会活動やクラブ活動の再編を行う必要がある。児童の自己有用感が育つ活動を目指し、再編していく。 ◆地域の方とともにクラブ活動を運営していくことを計画していく。 ◆自己有用感を育てるキャリア教育を実施していく。 (異学年交流・特別活動との連携・体験活動を通して地域との交流、大人との関わり) ◆集団登校・登校班のあり方について検討していく。	B	◆ICT機器を用いて、児童にとって楽しくわかる授業を作っていき、幼小中の連携を図り、共有できるとよい。 ◆一問一答式の授業からの脱却は、児童のためにも素晴らしいと思う。 ◆教師同士の交流や指導法などの交流を増やして子どもの指導に活かしてほしい。 ◆授業が基本。町指定の研究推進校として、積極的に学ばれていることは素晴らしい。 ◆知識だけでなく、多種多様な「知恵」の習得を期待する。 ◆タブレット活用については、ネットのマナーやルールの指導を継続していく必要がある。 ◆自主的に活動するための手立てを具体的に打ち出し、児童の要望や発案を重視した活動になることを期待する。 ◆いろいろな人との交流の中で、多種多様な考え方や価値観を理解して大人になっていけるようなキャリア教育をしてほしい。 ◆様々な人権課題に取り組まれており、お互いの大切さを知ることができて素晴らしい。 ◆他の人を思いやれるようになることが最も大事なことと思う。 ◆体験活動で感じ、学んだことが興味や関心が広がる。未来に期待する子どもの育成に期待する。 ◆集団登校については、今後、保護者応援団でも協議する必要がある。
	児童が主体的に動く 特別活動	70.2%		B	
	自他の命を 大切にする教育 (人権・特別支援・安全)	83.5%		B	

<table>
<tr><td>生活指導</td><td>・児童の内面理解
・チームで動く体制</td><td>82.1%</td><td>◆高学年だけでなく低中学年も担任同士の交換授業を積極的に行い、よりよい児童理解が行えるようにする。

◆「学校のきまり」の見直しを行っていく。あいさつ・ルールを守ることは、まず職員から！

◆場にそぐわない態度や言動、人を傷つける言動は見逃さず、指導をやりきる。
◆温度差なく情報を共有して対応するために、校務支援システムを活用する。</td><td>B</td><td>◆交換授業を行うことは、授業や児童を知っていくとともに、教師が学び合う姿勢が大切である。

◆教職員の来校者への挨拶は明瞭で良い。
◆あいさつやルールなどは、先生や保護者、子どももみんなで取り組んでいくことが必要。
◆学習の規律については、児童が安心して学習するためにもとても大切。
◆「まずは教師から」とても素晴らしい。

◆教師のメリハリのある行動が児童の手本になる。
◆組織的な対応がなされていて子どもを守る強い姿勢を感じる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">組織</td><td>分掌・委員会等の
効果的運用</td><td>76.8%</td><td rowspan="2">◆職員会議の提案事項は、協議する点を明確にして提案する。
◆部会で話し合ったことを職員会議で提案し決定していく。
◆積極的に意見を言える雰囲気作り（グループでの話合い・カフェ形式）
◆校務分掌表の整理
（仕事内容の明確化・受け持つ分掌の数ではなく、仕事量を考慮する。）
◆校務の効率化を図るため、校務支援ソフトを活用する。</td><td>B</td><td rowspan="2">◆積極的に意見が言えるスタイル（グループ討議・カフェ形式）を工夫されているのは素晴らしい。
◆職員の年齢構成に偏りがあり、若い職員と年配の職員の考え方に差が生じることが気がかりである。
◆教職員各々が方策を実践してほしい。
◆先生方の勤務が適正なものとなり、児童の笑顔とともに先生方も笑顔でいられるように、当たり前を変えていく仕組みを作っていただきたい。</td></tr>
<tr><td>・教職員の相互理解
・勤務時間の適正化</td><td>83.9%</td><td>B</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教育環境</td><td>安心安全な
環境づくり</td><td>85.7%</td><td rowspan="2">◆使ったものは元の場所に戻す習慣をつける。
◆気づいたらその場で清掃・整頓を行う。（一部の人に任せない。）
◆先を見通した計画的な備品購入・廃棄を行う。
◆空き教室を効果的に活用する。
（地域の方やボランティアグループに開放・個別支援や児童の居場所づくりに活用）</td><td>B</td><td rowspan="2">◆校内の整理整頓は行き届いていると思う。

◆大掃除だけでなく、日頃の作業も保護者に協力を仰いでもよいのではないか。
◆保護者応援団の力をうまく使い、環境整備を行っていけたらと思う。
◆運動場の除草作業に学校施設利用団体の協力を得てはどうか。

◆空き教室を地域の方の集いの場として活用することで、子どもたちと交流できるのではないか。</td></tr>
<tr><td>計画的な
備品整理と備品購入</td><td>85.7%</td><td>B</td></tr>
</table>